

# 米田柔整専門学校 同窓会誌 縮刷版

米田柔整専門学校同窓会  
〒451-0053  
名古屋市西区枇杷島二丁目3番13号  
米田柔整専門学校内

**令和3年の主な出来事**  
東京五輪演武披露 (7月)  
2021年度定期総会 (8月)  
世界形選手権大会優勝 (10月)

## 石田姉妹またまた快挙 世界形選手権大会優勝し3連覇 東京五輪にて演武を披露する

### 世界形選手権大会三連覇

令和3年10月26・27日にポルトガルのリスボンで開催された「世界形選手権大会」において、石田桃子(取)・真理子(受)姉妹ペアが『柔(じゅう)の形』で見事優勝を果たした。世界選手権3連覇となる。パンデミックの中、厳重な感染対策が取られた上で開催された今大会は、渡航制限のため一部の国が参加することができなかつたが、合計24カ国から男女百組以上が参加した。決勝で石田姉妹は427・5点とドイツペアに15点以上の大差をつけて優勝した。

### 東京五輪にて柔の形の演武披露

7月28日、柔道女子70キロ級と男子90キロ級の決勝を夜に控えた日本武道館にて石田姉妹が15の技を演じた。桃子さんは米田柔整専門学校で教員を、真理子さんは名古屋市内の病院でリハビリ関連の仕事をしている。会場はパンデミックのため無観客であり、テレビの中継もなかったが、畳のまわりでは海外選手の帯同者や大会スタッフが興味深く見守り、約9分の演武に拍手を送った。



石田姉妹に記念品贈呈

東京五輪にて「柔の形」の演武を披露した石田姉妹に同窓会より『栄誉賞』として記念品が贈呈された。贈呈時に平岩会長から『お

二人は米田柔整の宝です』と称賛の言葉があり、今回の功績に対して大変喜ばしいと気持ちを伝えた。記念写真を撮影後、石田姉妹より会長へ「是非見てください」と、朝日新聞(関東版)の夕刊記事を渡し、会長が『家宝にします』とこやかに応じた。



山田泰嗣先生に記念品贈呈

令和3年8月20日に二〇二〇年度の医療功労賞を受賞した、同窓生である山田泰嗣先生に平岩同窓会会長より記念品を贈呈した。この賞は長年の功績を称えて表彰されるもので、全国でも少数の方しか受賞できない大変名誉ある賞で

ある。会長から「同窓生としても大変喜ばしいことであり、皆の模範となる存在です!」と祝福の言葉がかけられた。先生は、写真撮影もあるだろうと表彰状をあらかじめご用意して、途中から先生が飼っている猫も同席し、受賞を祝った。



### 訃報

令和3年3月9日、元同窓会長の玉川雅淳先生が逝去されました。拓殖大学柔道部出身で、柔道部(特練)OBとして、審判員として各大会に参加するなど、その活動に厚く支援を行ってこられました。また栄養会として、自ら北海道で仕留めたエゾシカカレーを振る舞ってくださいました。

生前のご厚誼に対し、謹んでお悔やみ申し上げます。

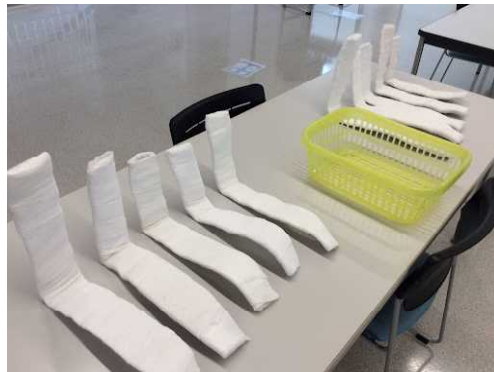
卒業式一部縮小して挙行

3月13日卒業式が挙行されました。パンデミックの影響により昨年度は中止となりましたが、本年度の卒業式は来賓が出席されず縮小した形で行われました。また、同窓会より卒業生に記念品が授与されています。



認定実技審査も感染症対策

11月7日、認定実技審査が本校で行われた。今年度も昨年度同様口述にて行うこととなった。骨格模型を使用して骨折部位や脱臼骨頭の位置などを説明し、固定の審査は金属副子を受審者自身の患部にあてて説明を行う。これを評価される。



柔道審査では服装、態度、受身、礼法の実技を行い、その後「柔道について」、「投の形について」、「柔道の投技について」口述審査を行った。慣れない実技試験の方法であるが、本校の学生達はよく練習し、準備をしっかりと行ったため成績は優秀であった。

第39回コミュニケーションセミナー

3月28日(日)第39回コミュニケーションセミナーがオンラインで開催された。講師には、弁護士法人心代表弁護士西尾有司先生が招かれ、「知らなきゃ損する!交通事故のQ&A」と題してお話をしていた。

第40回コミュニケーションセミナー

6月13日(日)第40回コミュニケーションセミナーが「柔道整復師が知っておきたい成長期腰椎分離症」をテーマにオンラインにて開催された。講師は伊藤雅流先生(53期)、山田隼也先生(56期)が招かれ、成長期腰椎分離症の疫学、分類、画像所見の見方、治療法などの基礎知識、接骨院における問題点等を中心に講演を行った。

第41回コミュニケーションセミナー

10月3日(日)第41回コミュニケーションセミナーがオンラインで開催された。特定医療法人米田病院 スポーツ整形外科長である福山陽子先生と島根スサノオマジックで理学療法士・アスレティックトレーナーとして活躍さ

れている神鳥 亮太先生のお二方が講師に招かれた。福山先生は、前十字靭帯損傷に対する再建術について、文献の紹介や先生のお考えを症例の紹介を交えてお話しくださった。

また神鳥先生は、前十字靭帯再建術後のリハビリテーションについてご講演いただいた。

パンデミックの影響続く

本年度の全国柔道整復学校大会は昨年度に引き続き中止となった。

感染拡大防止のため学生は体温測定を毎日行い結果を学校へ報告している。また緊急事態宣言発令時など一時的にZoomによる遠隔授業を行ったり、Youtubeによるオンライン授業を行った。

コロナ環境の整っていない学生へは、ルーターの貸与など対応をしている。



卒業生リレーコラム快走中

今年度は森倫範選手、藤田英二選手、杉浦光幸選手、三宅廣昌選手、宮田英生選手、水嶋信嘉選手、黒氏憲選手、竹上勝選手、平山貴博選手とタスキをつなぎました。いずれのコラムも力を入れた内容となっています。ぜひ米田柔整同窓会のブログをご覧ください。

二〇二一年度定期総会について

8月28日定期総会が書面議決によって開催されました。二〇二〇年度事業報告・決算報告、会計監査報告、二〇二一年度事業計画案・予算案、各期幹事変更、同窓会が講演する講師料についての審議を行い、賛成多数で原案通り可決されました。

QRコードから同窓会ホームページが読み込めます、ぜひホームページやブログ、Facebookををご覧ください

